



漢字文化について

尚綱大学・学長 大羽 宏一



第4号

発行 花桜会大学部会
 責任者 益田 理恵子
 熊本市榎木6-5-1
 096-338-8840

題字 小島曜子(国文・2回生)
 印刷 (株)河田印刷

新約聖書のヨハネ福音書の冒頭は、「初めに言葉があった。言葉は神とともにあった。言葉は神であった」(日本聖書刊行会版)という文章からなっています。私はキリストの教えを学んだことはありませんので、この内容について正しく解釈することはできませんが、一般的に読むとすればヒトの集団(民族)には言語という他人との意思疎通の手段があったというところで、その言語により神を見出した、ということかと理解する

ことができます。ヒトが他の動物とどこが違うのかを問われたときに、大脳の発達、二足での歩行、火や道具の使用、言語の獲得、文化的な活動(生命体の維持・存続以外の行動)など、様々な相違点が指摘できますが、なんといつても一番大きなものは言語の利用により、同一集団を構成する仲間との複雑な意見交換が可能となったことかと思えます。そしてこれをもとに、ヒト特有であるといわれる文化的・創造的な活動(宗教的な活動も

その一つかもしれませんが)をすることができるようになったということができます。これからすれば文化言語学部という学部の名称は、大変に意義深いものであると思います。文化と言語とは相互に深く関連するものといえるからです。この言語を記録する方法として、ヒトは文字を発見したようでもあります。どこの民族においても、文字のない時代においては語部(かたりべ)たちの伝承により過去が語られていました。これが当時の王(領主)にとつて唯一

の王たる根拠ともいえましたが、時代が経て、より明確な王の正当性が求められることになって文字が求められることになったわけでしょう。漢字は古代中国での甲骨文字が起源とされていますが、これは王が自らの出自の正当性や意思決定の妥当性を権威付けるものとして、政治の具体的な内容を獣骨に記述して、それを火中に投じその割れ方です(うらない)をしたものとされております。つまりトにより、神意に基づくものが明らかにされたことと領民に示す必要があったからであると推察することできます。中国において今でもたくさん出土していることは、昔の中国では一般的な政治手法だったことを証明しています。

域では文字を持つていた所は多くあり、エジプト地方や中東地方でも象形文字を有していたということができません(エジプトのヒエログリフは有名です)。しかしながら多くの象形文字は比較的早い時期に滅んでしまい、現在まで残っているものとしては漢字だけであるというのが不思議な感じがします。漢字研究者として有名な白川静先生(立命館大学名誉教授)は、その名著『漢字』(岩波新書)において「漢字だけが、いまなお不死鳥のように生き残っていて、その巨大にして旺盛な生命力は、容易に枯渇をみせようとしない」と言っておられます。

われわれ日本人は、日常的に漢字を念頭に置いて生活し、また思考しているともいえるでしょう。漢字は貴重な文化的遺産であるということができませんので、これからも継承していきたいものと思っています。

花桜会大学部会では、後輩の育成を側面から応援する為、御寄附をお願いしておりますが、まだまだ目標額には、達していません。趣旨をご理解頂き、御協力賜りますよう、再度お願い申し上げます。(同封の振り込み用紙をご利用下さい。)

●募金のお願い

一口二、〇〇〇円です。



文化言語学部 新コース

地域文化・社会コース

知識と技術

地域文化・社会コースは、地域の文化や伝統を守りかつ再生していくための方法を行政と法律、それに経済、観光、交通といった観点から考えていく一方で、社会の仕組みや現代社会の問題点を男性と女性の意識差、家族観、福祉・介護、サブカルチャー（オタク文化やマンガ、それに若者コトバなど）といった観点から考える、県内の他大学には見られないコースです。授業では、実際に各地に出かけインタビューを行いアンケート調査をすることもあります。また、サブカルチャーを学問として研究するコースも県内の他大学に

はありません。他にも放送局とのコラボ授業を企画しており、女性という独自の視点を持って報道の第一線で活躍しておられる方々（キャスターやカメラマン）をお招きして「メディア学」という授業も行います。卒業後の進路としては、地場産業の事務・総合職、百貨店、観光業、地方公務員、地方銀行などを目指します。



書道コース

書道を通して

「日々進化する自分」を表現

書道の技術を高め、書道史など理論も含め書を本格的に学べるコースです。

実技では漢字の各書体、仮名、漢字仮名交じりの他、てん篆刻、刻字、水墨画などもあります。理論では漢字・仮名古典研究、日中書道史、書論、名跡鑑賞などがあります。

また尚綱大学書道展、学外展、卒業書作展、各種展覧会で作品を発表して表現力を高めます。さらに、視野を広げる為に2年次には



「中国書の旅」を実施して美術館や博物館、史跡などを訪れ現地の大学生との交流も体験できます。卒業後の進路としては書道教員、書道塾講師、書家、筆耕、広告・出版・印刷業などに就職しています。

日本文学・言語コース

日本文化と日本語を再発見する

日本文学・言語コース（旧名称・日本文化・日本文学コース）は多角的に日本文化、そして日本語そのものについて学び、優れた日本語コミュニケーション力を持った社会で活躍できる人材を育てます。

本コースに入学した学生は、主に日本文学研究と日本語教育学を学ぶことが出来ます。

つまり、源氏物語から伊坂幸太郎の作品までの日本文学の広がりや変化を学びながら、文学作品の創作手法を学び、外国人に日本語

アメリカ・東アジア文化言語コース

確かな国際感覚と

外国語能力を養成

このコースでは、英語・中国語・韓国語のうち2言語以上の習得を目指しながら、アメリカ合衆国と東アジア（中国・韓国・台湾）の文化を深く理解することと、広い国際的視野を持った学生を育てます。

外国語の習得に不可欠な少人数制授業を実施して、学生一人ひとりが外国語を学ぶ楽しさを知ることが出来るばかりでなく、基礎から無理なく習得できるようにカリキュラムが組まれています。また、異文化理解もこのコースの核となつています。日本の文化や歴史

を教えるために必要な日本語の知識を身につけることが出来るのが、日本文学・言語コースです。

卒業後の進路としては、国語教員、広告・出版・印刷業、金融団体職員など幅広い分野に就職しています。



を見据えながら、特にアメリカ合衆国と東アジアの文化、言語、歴史、生活、思想を学び、比較することで異文化理解を深めます。異文化体験の絶好の機会である留学やフィールドワークも計画しています。さらに観光関係の科目も充実しており、資格取得に力を入れています。

卒業後の進路としては、中学・高校の英語教員、航空関係業務、旅行・観光業務、貿易関係、マスコミなどであり、大学院進学や留学も視野に入れています。



つれづれに

「娘は母の作品です」



益田 理恵子 (国文 2 回生)

二人の娘のうち、一人が嫁ぎ、もう一人も来年には・・・という今頃になって、フと不安になった。ちゃんとしたしつけは出来ただろうか？人様に迷惑をかけてはいないだろうか？嫌がられてはいないだろうか？と。

又、それぞれのパートナーから「こんな所は、お母さんに似てますよね」「言葉の選び方がそっくりだ」と言われると、その不安はつのるばかりだ。

彼女たちを育てるにあたり、私が一番理想としたのは、皇后美智子様の子孫に似て育て方である。

就学前には、包丁でリンゴの皮をむく事も

「書」との関わり



井田 千恵
(国文・6回生)

昭和59年に尚綱大学文学部国文学科を卒業しました。在学中は書道部に在籍し、4年間練習に励みました。

学生時代の一番の思い出は1・2年を過ごした寮生活です。携帯電話もない時代で寮生全員で1台の公衆電話を奪い合うように使っていました。テレビも娯楽室に1台あるだけで「サ・ベストテン」時は、

さながらコンサート会場のようでした。洗濯機もなく手洗い手し

ほり…自然に握力を身につけました。一番の楽しみは毎晩のお茶会でした。当然体重のピークはその頃です。

卒業後は母校の大牟田高校に書道の常勤講師として一年間勤務し、その一年後に結婚しました。以来ずっと専業主婦でしたが、平成12年に主人が会社を辞め独立して書道用品の販売・表具の仕事をするようになってからは、微力ながら私も業務や表具を手伝っています。週に3日は市内のホテルで筆耕として勤務し毎日忙しくも充実した日々を送っています。

仕事柄常に「書」に関する事を幸せに思い、時々恩師・故福島桑雨先生のきびしく優しいお顔を思い出しています。

OPEN CAMPUS
7/19(日)・20(月)

8/8(日)・11(月)・22(日)

九品寺
キャンパス

〒862-8678
熊本市九品寺2-6-78
TEL: 096-362-2011
FAX: 096-363-2975

楡木
キャンパス

〒861-8538
熊本市楡木6-5-1
TEL: 096-338-8840
FAX: 096-338-9301

尚綱大学・尚綱大学短期大学部

http://www.shokei-gakuen.ac.jp/ (パソコン)
http://www.shokei-gakuen.ac.jp/m (携帯)
E-mail: nyushi@shokei-gakuen.ac.jp

【お問い合わせ先/入試センター】
〒861-8538 熊本市楡木6-5-1
TEL: 096-338-8840 (代) FAX: 096-339-1058

「平和と歴史体験発表大会」で尚綱大学チームが3位!

昨年8月27日(水)～8月31日(日)に韓国の城南市で「2008年東北アジア学生平和と歴史体験発表大会」が開催され、尚綱大学文化言語学部チームが外国人部門で3位に入賞しました。

この大会は東北アジア歴史連盟、韓国YMCA全国連盟が主催し、韓国文化観光部が後援した国際大会で、11カ国から300余人の大学生が集いました。日本からは一橋・立教・中央・清泉女子・聖和・神戸女学院・九州・熊本・尚綱大学の9校の代表が参加しました。

本学チームは、文化言語学部の3年生の平田未史さん、後藤理奈さん、住吉安寿加さん、竹山悠子さん(日本コース)、稲田有希さん(英語コミュニケーションコース)の5人で、「World of Confucius」というテーマについて英語で発表しました。そのために在日韓国人と日本の戦争体験者双方から話を伺い、韓国からの留学生と討論をしました。

次は、住吉安寿加さんの感想の一部です。

「・・・私たちの発表は本当に練習したとりにパワーポイントを見せ、説明するという感じでした。私は一番最後のまとめの部分と言う担当だったので相当緊張していました。しかし、私が発表をしている途中でパワーポイントの映像が切れるというアクシデントがあり私の緊張は少しほぐれ最後まできちんと発表することができました。全ての発表は予定時間を



少しオーバーしたものの無事に終了することができました。

・・・そして、運命の発表の時、尚綱大学の名前が呼ばれました。本当にびっくりしました。前日の夜に慌てて削除していた発表がまさか3位になるとは思いませんでした。本当にうれしかったです。それぞれ3位から壇上へ上がり賞状を受け取りました。その時、韓国に来てよかった。この企画に参加してよかった、頑張ってきたよかったと心から思いました。

・・・今回、このイベントに参加して、平和について深く考えることができたし、いろんな人も仲良くなれました。また、お互いの意見を聞くことができて何を考えているのか、どう思っているのか、文化の違い、国民性の違いを感じる事ができました。他の国の人にも私たちがどう考えているのか何を思っているのか伝えることができたと思います。」

なお、同チームは昨年の9月に韓国で開催された「第2回歴史NGO世界大会」にも日本代表として招待されました。

お出来になり、ちよつとした立居振舞いや表情にも、品の良さが漂う、本当にステキなレディに育てられたとうらやましい。

元来、純白の赤ん坊に少しずつ色をつけるのは、周りの環境であり、最も影響が大きいのは母親だと思う。自らが無知であり粗野であるなら、美しい色をつけてやる事は難しい。その為には、まず母親が人として豊かであればならないとつくづく思う。子育てとは、母親自身の生き方が問われる大仕事である。そして、自分の育てた子どもがどのような子育てをするのか。子育ては、一生終わらない。次の世代へも永遠と続いていく。

我が娘達が、どうにか人様並に育っていることを願いつつ、私も母の娘である。母の子育ての評価を落とさぬよう、心して前向きに生きていきたいものである。

平成21年度 総会のお知らせ

☆平成21年6月27日(土)
 受付 12:30
 総会 13:00
 講演 13:45

☆尚綱大学榆木キャンパス

☆問い合わせ先
 榆木キャンパス
 ・096-338-8840 (市川)
 九品寺キャンパス
 ・096-362-2011 (郡山)

例年総会后、参加された方々に意義あるひとときを過ごしていただくため、講師の先生をお招きし、講演会や演劇鑑賞等を催しておりましたが、今回は三嶋天鴻先生のご指導による「楽しい書」を企画しました。

内容としては、好きな詩文をうちわや色紙、葉書き等に書き、小品として仕上げたいと思います。子どもさん方もダンボールや紙等に書いて作品を作りたいと思いますので、ぜひ一緒にご参加下さい。作った物は持ち帰れますが、うちわのみ後日郵送となります。

(尚、うちわを制作希望される場合、三百円〜千円程度が必要です。その他の用具、墨汁、筆、下敷等は大学部会で準備致します)



三嶋 天鴻先生

1プロフィール

昭和17年、熊本県山鹿市生まれ。熊本大学教育学部卒業。同大学にて斎藤鶴跡に書の手ほどきを受ける。卒業後は独学。県立高校書道科教諭として38年間勤務する。日展入選。

平成14年から、県立大学書道部講師。



三嶋先生の作品「門」

平成20年度 総会報告

平成20年6月28日(土) 榆木キャンパスにおいて、平成20年度の総会を開催致しました。

例年通り20年度の事業報告・会計報告をし、21年度の事業計画案・予算案を承認して頂きました。

又、ここ数年話題に上っている役員改選の件は、後任者を推薦出来ず保留となりました。

その後、会場を5階講堂に移し劇団「The eちゃぶ台」の「やまとなでしこ」を鑑賞しました。

「やまとなでしこ」を観て

丁畑幸美(八代市在住) 尚綱大学同窓会主催の観劇会があると聞き、八代から友達4人と出かけました。会場の舞台には色とりどりの洋服や、こまごまとしたアクセサリやキャラクターグッズ、ヨソ様のポスターがあり何だかワクワクしてきました。毎日感謝を込めて生活し、チョボラという行商でのボランティアに生き甲斐を見出し、元気を貰いました。また、現代にありがちなアラフォーの夕子さんのやりとりがしみじみとしていて、観ていて「あー芝居っていいなあ」と、じわーと心に染み入るものがありました。

芝居の途中では映画やアニメの世界が表現され盛りだくさんの内容で、あつという間に公演が終わって「もつとめ婆さんの生き様に触れていたいな」と思える程でした。

いい文化に出会い感動して感性や人間性を磨いて人生を豊かに実りあるものにして行きたいと思いますが、良い文化芸術も、自分で選

花桜会大学部会 活動ダイアリー

- 平成20年度
- 4月7日 入学式出席
 - 12日 大学部会定例役員会議
 - 18日 同窓会本部定例会議出席
 - 22日 同窓会本部会計監査
 - 5月9日 同窓会本部定例会議出席
 - 17日 大学部会定例役員会議・総会準備
 - 6月13日 同窓会本部定例会議出席
 - 14日 大学部会定例役員会議・総会最終打ち合わせ
 - 20日 尚綱高校創立120周年記念事業出席
 - 28日 大学部会総会・観劇会
- 平成21年度
- 4月6日 入学式出席
 - 11日 大学部会定例役員会議
 - 5月9日 大学部会定例役員会議
- 7月12日 大学部会定例役員会議・反省会
- 11月21日 同窓会本部定例会議出席
- 12月7日 尚綱大学高校生書道展表彰式出席・花桜会賞授与
- 1月13日 花桜会三部会会議出席
- 1月24日 同窓会本部定例会議出席
- 2月21日 大学部会定例役員会議
- 3月12日 花桜会大学部会入会式
- 13日 尚綱大学卒業式出席
- 14日 大学部会定例役員会議



編集後記

「花さくら」第4号をお届けしました。いかがだったでしょうか。

4号という事は、4年以上同じメンバーで会の運営や、新聞の編集をやってきたという事になります。会長職は、それ以前からお受けしていましたので、かれこれ10年になります。

さくらの花の様に深く！と思っておりますが、バトンを渡す相手が見つかるのですが、バトンを渡す相手が見つからず思う様に行きません。一緒に運営等やって下さる仲間を大募集しております。事務局まで「報下さい」。(第5号では発行責任者の名前が変わっております)

お忙しい中原様をお寄せ下さった方、発行に関わって下さった方々に感謝致します。